

DOAC 服用中の腎機能変化に注意

DOAC(直接経口抗凝固薬)はPT-INRのモニタリングやビタミンK摂取の調整が不要であり、ワーファリンに代わり広く使用されています。一方、出血リスクを定量的に示す検査指標が存在しないため、出血リスクがみえにくいという課題もあります。

特に注意が必要なのは、服用中の腎機能の変化です。腎機能の低下により出血リスクが上昇し、重大な出血を引き起こすリスクが高まります。

感染症など明らかな体調変化がない場合にも、高齢者や脱水、併用薬により腎機能が変化している可能性があります。DOACの新規開始時だけでなく服用継続中も、随時腎機能の低下等に注意し減量の要否を確認していくことが重要です。

腎機能に応じたDOAC投与量一覧を作成しました。(付表参照)

DOACを適切に減量しなかったことによる最近の損害賠償事案

中等度の腎機能障害者が持参したエドキサバントシル酸塩水和物錠 60mg/日(既往症の心房細動による脳梗塞予防目的)を添付文書通りに減量せず再開、その後、視床出血を発症しました。当該患者さんの全身状態を考慮すると、DOACを半量に減量したとしても視床出血を発症する危険性はありましたが、減量せずに投与したことによる視床出血の発症及び出血の増大、死亡との因果関係が否定できないため過失として認められています。

採用薬変更

※濃度・剤形の変更あり

ニトロール注 → 硝酸イソソルビド注
ミリスロール注 → ニトログリセリン静注

ニトロール注の切替後の製剤は、濃度が2倍濃くなるため投与速度を半分にする必要があります。また、容量50ml以上の製品は剤形変更(シリンジ↔バイアル)があります。救急薬剤一覧などの資料は今後改定予定です。

ニトロール注(5mg/10ml/アンプル)	→ 硝酸イソソルビド注(5mg/5ml/アンプル)
ニトロール持続静注シリンジ(25mg/50ml)	→ 硝酸イソソルビド注(50mg/50ml/バイアル)
ミリスロール注(5mg/10ml/アンプル)	→ ニトログリセリン静注(5mg/10ml/アンプル)
ミリスロール注(25mg/50ml/バイアル)※	→ ニトログリセリン静注シリンジ(25mg/50ml)

※採用薬は50mg/100ml製品ですが、販売中止のため半分の規格で現在代用しています。

夏の脱水に注意

今年も気温が上昇してきました。脱水により腎機能低下など、薬の副作用につながりやすくなるものが多数あります。脱水に注意が必要な薬をDIニュースNo. 661(2024年8月)にまとめていますので、随時ご活用ください。

また、脱水予防にはこまめな水分補給が大切になります。
心不全や腎不全等、水分制限が必要なケースは医師の判断となります。
尚、心不全のガイドラインでは重症心不全では水分制限が必要とされています。軽症の慢性心不全では水分制限は不要とされています。



DI 情報

【副作用報告】 DI委員会 5月報告より

No	被疑薬	副作用名	グレード	評価	院所
1	アムロジピン	下腿浮腫	－	非重篤	行田
2	ゲーフィス	泥状便	－	非重篤	行田

－今月号の目次－

- ①＜今月のトピック＞ DOAC 服用中の腎機能変化に注意 P1
- ②＜今月のトピック＞ ニトロール注、ミリスロール注の採用薬変更 P2
- ③＜今月のトピック＞ 夏の脱水に注意 P1
- ④＜DI 情報＞ P2
- ⑤付表 腎機能に応じた DOAC 投与量一覧 P4

【気になる事例の紹介～プレアボイド報告より～】 DI委員会 5月報告より

薬剤名	経過・内容
トラネキサム酸	トラネキサム酸(250)3錠/日の新規処方あり。 BUN20.9、CRE1.13、標準化 eGFR35、Ccr29.1 と腎障害ある方。 →高用量使用により痙攣の報告があるため、3錠/日から2錠/日への変更を医師へ提案し変更となった。
ジクトルテープ	ジクトルテープ継続中の方。ジクトルテープは内服困難な期間に前医より処方されていた。 →腰痛は残存しているが局所投与でも対応できそうな印象であり、ジクロフェナクの全身投与による消化管出血等の副作用リスクを考慮し、ロキソプロフェン Na テープへの切替を医師へ提案した。 →ジクトルテープ中止、ロキソプロフェン Na テープへ変更となった。その後腰痛の増悪なし。
ジクトルテープ	ジクトルテープ 75mg1日1回2枚で処方あり。低体重(35.6kg)、Ccr28程度と腎機能低下のある方。 →腎障害を悪化させる可能性があるため1回2枚の使用で良いか減量について医師に相談した。 →ジクトルテープ 75mg1日1回1枚へ減量となった。

【採用薬変更のお知らせ】 県連薬事委員会 5月報告より

『販売中止に伴う採用医薬品変更』

- ・ニトログリセリン静注 25mg/50mL シリンジ「TE」、ニトログリセリン静注 5mg/10mL「TE」
(ニトログリセリン製剤：トーアエイヨー) 1528 円／25mg シリンジ
- ・硝酸イソソルビド注 5mg/5mL「タカタ」、硝酸イソソルビド注 50mg/50mL「タカタ」
(硝酸イソソルビド製剤：高田製薬) 1022 円／50mg バイアル
- ・グルコンサン K 細粒 4mEq/g (バラ包装) (カリウム補給剤：サンファーマ) 6.7 円／g
- ・グリチロン配合錠 (抗アレルギー・肝臓疾患用剤：ミノファージェン) 5.9 円／錠

『供給停止による取扱医薬品変更』

- ・リネゾリド点滴静注 600mg/300mL「HK」(オキサゾリジノン系合成抗菌剤：光製薬) 6408 円／袋

『再採用』

- ・トリビック (ワクチン・トキソイド混合製剤：田辺三菱)

『後発医薬品への採用医薬品変更』

- ・ブデソニド吸入液 0.25mg/0.5mg「武田テバ」
(吸入ステロイド喘息治療剤：武田テバ) 39.6 円／0.25mg アンプル
- ・ダルベポエチンアルファ注 120 μg/180 μg シリンジ「KKF」
(持続性赤血球造血刺激因子製剤：協和キリン) 8230 円／本

『採用削除』

- ・ミリスロール注 25mg/50mL、ミリスロール注 5mg/10mL (日本化薬) 1200 円／25mg バイアル
- ・ニトロール注 5mg、ニトロール持続静注 25mg シリンジ (エーザイ) 639 円／25mg シリンジ
- ・グルコンサン K 細粒 4mEq/g (1g/包) (サンファーマ) 6.7 円／g
- ・アロチノロール塩酸塩錠 10mg「DSP」 (本態性振戦治療剤：住友ファーマ) 13.2 円／錠
- ・ネオファージェン C 配合錠 (大鵬薬品) 5.9 円／錠
- ・リネゾリド点滴静注液 600mg「KCC」(ネオクリティケア) 3445 円／袋
- ・パルミコート吸入液 0.25mg/0.5mg (アストラゼネカ) 104.9 円／0.25mg アンプル
- ・ネスプ注射液 120 μg/180 μg プラシリンジ (協和キリン) 12376 円／本

『新規試用』

<ふれあい・糖尿病科>

- ・アウイクリ注フレックスタッチ総量 300 単位
(週 1 回持続型溶解インスリンアナログ注射液：ノボノルディスクファーマ) 2081 円／本

情報の提供・お問い合わせは、埼玉協同病院・ふれあい生協病院 薬剤科 DI 室

(代表) 0570-00-4771 まてどうぞ

担当 寺倉・中村・木村・若林